

1万2600キロ

73歳日本1周完歩

徒歩で日本一周に挑戦していた一宮市萩原町高木の岩山正さんが三日、ゴールの同市真清田の宮前三八市広場に到着した。区間ごとに分けて歩き、八年かけて目標を達成した岩山さんは、拍手で仲間たちに迎えられ感激の涙を浮かべた。

(柚木まり)

一宮の岩山さん

岩山さんはクリーニン 毎年春と秋、計十九回

グ会社を六十歳で定年退に分けて全国各地に出掛職後、同世代の男性がリ、一日四十キロのペースヤカーを引いて日本一周で海岸線沿いを景色を楽八千キロを完歩したというしみながら歩いた。熱が新聞記事を見て「一日に出たり、靴擦れがひどく四十キロ歩き、十年続けられたが、延べ三百二十四日も一念発起。二〇〇〇年で二万二千六百キロを踏破五月、自宅から三重県四した。

日市市までの四十三キロを 岩山さんはこの日、一日で歩いたのを手始め「一宮友歩会」の仲間らとともに午前九時、弥富市に日本一周の旅をスタートした。

1日40キロ、8年かけ 祝福に感涙



仲間に拍手で迎えられ、うれしそうにゴールする岩山正さん（手前右）——一宮市真清田の宮前三八市広場で

ゴール地点の宮前三八市間百四十キロのコースを歩広場では、約七十人に祝く予定。自信に満ちた顔福され、「まだ実感がわで「気力さえあれば、体かないけど」と照れた力については来るもの」と様子。「皆さんに迎えられ、言い切った。

れて感激しました」と、うれしそうに話した。

「歩くことが日課」という岩山さんは、来週も北海道で開かれるウオーキング大会に参加、四日

●90歳男性はねられ死亡 19日午前7時半ごろ、一宮市萩原町東宮重の県道交差点で、歩いて横断していた同町高木、無職岩山正さん(90)がワンボックスカーにはねられた。頭を強く打ち、搬送先の病院で死亡が確認された。

一宮署は、自動車運転死傷処罰法違反(過失運転致傷)の疑いで、運転していた岐阜市岩田西3丁目、会社員武藤正臣容疑者(50)を現行犯逮捕した。容疑を認めているという。同署は信号の状況など原因を調べている。

(朝日新聞)